

平成30年度福島県立高等学校入学選抜における選抜方法

別紙 2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
26	県立須賀川桐陽高等学校	全日制

I 期選抜

大学科 小学科	募集 定員枠	志願してほしい生徒	選 抜 資 料				備 考
			志願理由書	調 査 書	面 接	そ の 他	
		「英知」の校訓の下、知性豊かで主体的に問題解決に取り組み、自己実現を図ろうとする人間の育成を目指しており、次のような生徒を求める。					
普通科	35% 程度	<p>上級学校への進学希望を持ち、次のいずれかに該当する生徒。</p> <p>A（学業） 「学習の記録」が極めて優秀で、入学後も意欲的に学習し、高校生活においてリーダーシップがとれる者。</p> <p>B（部活動） 「学習の記録」が優秀で、部活動においても顕著な実績があり、入学後も部活動を継続し、そのリーダーとして活躍が期待できる者。ただし、対象とする部活動は募集要項で示すものとする。</p>	<p>志望の動機、高校生活への抱負、卒業後の進路希望等について、志願理由書の指示にしたがって本人が記入する。</p>	<p>「各教科の学習の記録」は135点満点とする。「特別活動等の記録」は点数化しないが、内容は精査する。</p>	<p>A（学業）志願者については、個人面接を実施する。 面接の内容には中学校における学習活動の成果を問う内容（国語・数学・英語）を含む。 面接については、点数化する。</p> <p>B（部活動）志願者については、個人面接を実施する。 面接については、段階評価する。</p>	<p>A（学業）志願者、B（部活動）志願者ともに小論文を実施する。 与えられた資料をもとに、指示に従って、600字程度で自己の考えをまとめる小論文とする。 小論文については、点数化する。 また、B（部活動）志願者については、実技も実施する。 実技については、段階評価する。</p>	

平成30年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙 2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
26	県立須賀川桐陽高等学校	全日制

I 期選抜

大学科 小学科	募集 定員率	志願してほしい生徒	選 抜 資 料				備 考
			志願理由書	調 査 書	面 接	そ の 他	
数理科学科	40% 程度	「学習の記録」が極めて優秀で、入学後も高い学習意欲と明確な目的意識を持ち、理系の国公立・私立の四年制大学への進学を志望する者。文系の国公立・私立の四年制大学への進学を志望する者は、理系科目にも興味・関心のある者とする。	志望の動機、高校生活への抱負、卒業後の進路希望等について、志願理由書の指示にしたがって本人が記入する。	「各教科の学習の記録」は135点満点とする。「特別活動等の記録」は点数化しないが、内容は精査する。	個人面接を実施する。 面接の内容には中学校における学習活動の成果を問う内容（国語・数学・英語）を含む。 面接については、点数化する。	小論文を実施する。 与えられた資料をもとに、指示に従って、600字程度で自己の考えをまとめる小論文とする。 小論文については、点数化する。	

平成30年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙 2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
26	県立須賀川桐陽高等学校	全日制

Ⅱ期選抜

大学科 小学科	募集定員	選 抜 資 料			学力検査と調査書の成績の比重	備 考
		学 力 検 査	調 査 書	面 接		
普通科	(200)	5教科とする。	「各教科の学習の記録」は195点満点とする。「特別活動等の記録」は点数化しないが、内容は精査する。 (各科共通)	集団面接を実施する。 面接については、段階評価する。 (各科共通)	同等とする。 (各科共通)	
数理科学科	(40)	5教科とする。				

Ⅲ期選抜

大学科 小学科	選 抜 資 料			備 考
	調 査 書	面 接	小 論 文	
普通科 数理科学科	「各教科の学習の記録」は135点満点とする。「特別活動等の記録」は点数化しないが、内容は精査する。	個人面接を実施する。 面接の内容には中学校における学習活動の成果を問う内容（国語・数学・英語）を含む。 面接については、点数化する。	小論文を実施する。 与えられた資料をもとに、指示に従って、600字程度で自己の考えをまとめる小論文とする。 小論文については、点数化する。	